

看護科 Q&A



Q1 卒業時の資格について教えてください

高校卒業時点では、何の資格もあたえられません。高校卒業だけです。

- 専攻科2年間修了時点で得られるのは
- ① 看護師国家試験受験資格
 - ② 准看護師資格試験受験資格
 - ③ 助産師・保健師・看護教諭の養成所受験資格
- 5年間修了しても看護師国家試験に合格しなければ看護師にはなれません。

Q2 看護師国家試験について教えてください

- 看護師国家試験は例年2月中旬に全国11箇所で行われます。
- 全国の合格率は例年90%前後です。年1回の試験ですので、試験に不合格となった場合は翌年に再受験ができます。しかし、既卒者の合格率は44.5%(5年一貫においては、28.3%)と低くなっています。
- 過去5年間の看護師国家試験合格状況は以下のとおりです。

試験年	全国			本校		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者	合格者	合格率(%)
平成30年	64,588	58,682	91.0	38	37	97.4
平成29年	62,534	55,367	88.5	37	37	100
平成28年	62,154	55,585	89.4	38	38	100
平成27年	60,947	54,871	90.0	34	34	100
平成26年	59,725	53,495	89.6	37	37	100



Q3 看護科の男子生徒は何人ですか

平成22年から本校は共学になりました。現在男子生徒の人数は以下のとおりです。

学年	高校1年	高校2年	高校3年	専攻科1年	専攻科2年	合計
看護科人数	40名	40名	39名	40名	35名	194名
内男子人数	0名	1名	2名	0名	4名	7名

- 2016年の就業男性看護師は、8万4193名(看護師121万665名のうち)であり、この10年で倍増しています。本校においても男子生徒が7名在学しています。
- 年々、男性看護師も男子看護学生も人数は増加しています。

男子の割合
3.6%

Q4 看護科の授業を教えてください

- 高校の時は、45分7コマ授業で、授業終了は15時40分です。専攻科になると、100分授業の4コマ、授業終了は16時35分となります。
- 高校3年間の専門科目の割合は、学年が進むと増えていきます。一般科目と専門科目の割合が7対3で、一般科目の授業が少ないため、高校卒業時に進路変更すると大学受験は不利となります。あくまでも5年間で卒業する気持ちで看護科を選択して下さい。
- 専攻科2年間は、圧倒的に専門科目が多くなり、専攻科2年では5月から9月まで実習になります。

高校1年		
高校2年	一般科目	専門科目
高校3年		
専攻科1年		専門科目
専攻科2年		

Q5 実習はどこで行うのでしょうか

学年	実習日数	実習施設
高校	2年 13日間	<ul style="list-style-type: none"> ● 公立刈田総合病院(白) ● みやぎ県南中核病院(大河原)
	3年 23日間	
専攻科	1年 44日間	<ul style="list-style-type: none"> ● 県南中核病院(大河原) ● 総合南東北病院(岩沼) ● 県立がんセンター(名取) ● 県立精神医療センター(名取) ● 仙台南病院(仙台) ● 仙北病院(仙台) ● 仙台西多賀病院(仙台) ● 仙台厚生病院(仙台) ● 仙台赤十字病院(仙台) ● 県立こども病院(仙台) ● イムス明理会仙台総合病院(仙台) ● 国見台病院(仙台) ● 宮城病院(山元)など
		2年 72日間
	合計	152日間 43ヶ所

Q6 自宅外通学の生徒はいますか

- 看護科は県内に1校しかありません。遠い東北エリアや三陸エリアから入学してくる生徒もいます。
- 学校には寮はありません。看護科で自宅外から通学している生徒は以下のとおり。下宿1名・アパート2名・親戚宅2名の5名です。

学年	自宅外通学	出身中学校
高校	1年 1名	気仙沼新月
	2年 0名	
	3年 0名	
専攻科	1年 1名	気仙沼大谷
	2年 3名	秋保・米山・村田一
合計	5名	



Q7 5年間の経費を教えてください

平成30年度の授業料とその他納入金は以下のとおりです。この他に実習先までの交通費は自己負担となります。

学年	入学金	授業料	その他納入金
高校	1年 5,650円	118,800円	61,000円 通常の納入金の他に看護副教材費等が加わる
	2年	118,800円	54,000円 通常の納入金の他に看護副教材費・実習費などが加わる
	3年	118,800円	76,000円 通常の納入金の他に看護副教材費・実習費などが加わる
専攻科	1年 5,650円	118,800円	127,500円 教材費・国家試験対策費・研修旅行費など
	2年	118,800円	81,500円 教材費・国家試験対策費・国家試験受験費用など

※高校1〜3年生については保護者等の県民税・市町村民税所得割額の基準を満たせば、授業料に充てる就学支援金が支給されます。

Q8 卒業後、大学へ編入できると聞きましたが、本当でしょうか

- 大学でさらに専門性を深めたいと希望する学生に対して、高校専攻科の修了者において大学編入資格が認められるようになりました。本校においても認められています。



看護科卒業生から Message

幼いころからの私の夢は、助産師として働くことでした。そのため、1年でも早く助産師として働きたいと思い、白石高校看護科に進学しました。仙台からの遠距離通学に不安もありましたが、同じように遠距離通学している先輩が多く在学していることを知り、進学を決意しました。通学時間が長いことにより、勉強や実習、部活等の両立で苦労したこともありましたが、それ以上に白石高校で過ごした5年間は私にとって財産となり、大きく成長することができました。

私は高校時代、陸上部に所属していました。高校入学当初は、勉強と部活の両立に苦戦しました。普通教科に加え、聞きなれない専門用語が多い看護科。中学時代よりもハードな部活。目の前のことをこなすのが精一杯でした。しかし、白石高校は看護科の生徒でも活発に部活動に取り組んでいます。そのため、仲間と分からないことを教え合い、先輩に勉強法や時間の使い方などを教えて頂くことで、看護師を目指しながら部活に励むことができました。部活で得た忍耐力や継続力・努力する経験は私にとって大きく成長することができた原点であり、専攻科での長く辛い実習・国家試験の勉強や助産学校での学校生活に生きています。

そして私はこの春から助産学校に進学しましたが、20歳という年齢は最年少です。しかし年齢は関係なく仲間と共に助産師を目指し、実習やグループワークに励み、充実した生活を送っています。今こうして助産学校で充実した日々を送れるのも、病院実習で様々な看護を教えてくださいました指導者さんや患者様、進学をサポートして下さった先生方、5年間同じ目標を持って切磋琢磨し合った仲間のおかげです。白石高校看護科は、看護師や助産師になりたい夢を叶える環境が整っており、自分を大きく成長させる場です。もし、看護師になる志を強く持てるのであれば、是非白石高校で看護師を目指してください。修生として応援しています。

私は看護科で学んだことを生かし、妊産婦さんだけではなく家族にも耳を傾け個別性に合わせた助産ができるよう、努力を重ねています。

スズキ病院附属助産学校進学



わたしは今、茅ヶ崎という海が綺麗な街で看護師として働いています。まだ新人で研修ばかりの日々ですが、休みの日に海を見に行きリフレッシュしながら、充実した日々を送っています。

5年一貫教育の学校を卒業したという、「すごいね」などと声をかけられることも多く、白石高校で5年間頑張ったほんとに良かったなと思います。決して楽しい事ばかりではなく辛いこともありましたが、それを乗り越えた先にいいことがいっぱい待っていると思います。わたしは今でも、国家試験前に、看護科の後輩達や先生方が激励に来てくれとても嬉しかったのを覚えています。優しく、思いやりのある尊敬のできる後輩がいてとても幸せだと思うと同時に、わたしはそれを誇りに思います。

わたしは正直に言うと、看護師になりたいと夢を持って入った訳ではありませんでした。看護師に向いてないと思うこともたくさんあり、挫けそうになったこともありましたが、支えてくれた家族や仲間、先生方のおかげでここまで来ることが出来ました。

今、自分の進路に迷っている人も、きっと自分のやりたい看護が見つかるはず。自分の可能性を信じて色んなことにチャレンジしてください。わたしはまだ、新人看護師で頑張らなければならないことがたくさんあります。それに臆することなく、精神看護のプロになるという夢を胸に、精一杯頑張っていくと思います。

今していること、その努力は無駄ではないと思います。いつか 医療法人 徳洲会 茅ヶ崎徳洲会病院 実を結びと信じて。



「本当に看護師になりたい人だけ来てください。」私が15歳のとき、白高オープンスクールで、看護科の尊敬する先生から言われた言葉です。15歳で自分の将来を考え決断することは、とても覚悟のいることです。それでも看護師になりたいという強い思いを抱くのであれば、白石高校は、あなたを全力でサポートして下さる先生方が大勢おり、クラス替えがなく5年間を共に過ごす仲間の存在が大きな支えとなる、最高の環境であると思います。

私は、幼い頃入院した際に出会った男性看護師のようになりたいという思いから看護師を志し、最短で看護師になれる白石高校へ進学しました。思い返せば高校から専攻科までの5年間はあっという間に過ぎていきました。しかし、白石高校での経験や学びは、私の人生において大切なものであったと感じています。

高校生活では、まず男女の比率に圧倒されたのを覚えています。入学当初は女子が多いことで男子の居場所がないように感じましたが、次第にクラスに馴染んでいくことができるようになります。よく先生方から男子がいるか否かでクラスの雰囲気が変わると言われていたので、男子がいるだけで良い影響があると思います。高校生のうちから看護実習が始まり、学年が上がるごとに日数も増え、質が上がり正直つらいこともたくさんありましたが、家族や看護科の先生方、同級生に支えられ乗り越えることができました。本当に感謝しています。

私が現在、呼吸器内科・肝臓内科病棟で看護師として働いています。分からないことばかりで毎日が勉強の日々ですが、病棟では看護実習での経験が活かされる面もあり、あの頃必死になって頑張ってたよかったです。そして、5年間かけて白石高校で看護を学んだことで、しっかりと基礎が身についたように感じています。これからも私の理想とする看護師を目指して頑張っていきたいと思っています。

一般財団法人厚生会 仙台厚生病院勤務

